

国際理事会報告

2025年度 ICD国際理事会報告

国際理事 宮崎 真至

2025年国際理事会が、10月24日～10月25日の2日間にわたる日程でミラノ（イタリア）で開催された。理事会には、原則として国際理事の現地出席が求められているが、数名がバーチャルでの参加となった（図1、2）。

第1日目（FIRST SESSION）

●午前の部（COUNCIL ORIENTATION）

- 1）参加した国際理事を5組に分け、アイスブレイキングが行われた。
- 2）Dr. Corchから、ICDの内規等に関する理解を深めるプレゼンが行われた。
- 3）Dr. Possiotisから、国際理事の役割等について確認をするためのプレゼンが行われた。
- 4）Dr. Possiotisから、国際理事の評価についての提案があった。
- 5）Mrs. SeganからGlobal Officeのサポート状況についての説明があった。

●午後の部（AGENDA）

- 1）参加者の確認がされた後に、国際理事長から新し

い国際理事等の紹介があった。

- 2）国際理事長をはじめ、執行部からの活動報告がされた（Officers' Reports）。

- 3）Global Officersが以下のように認められた。

President：Julio H. Rodriguez（USA Section I）

President-Elect：Mauro Labanca（European Section V）

Vice President：J. Antonio Bello（Mexico Section III）

Treasurer：David Crum（Australia, New Zealand, South Pacific Section VIII）

Editor：Dov Sydney（European Section V）

Immediate Past President：Ian Doyle（Canada Section II）

- 4）ICDの会計状況とともに、奨学金の今後について報告があった。

- 5）各セクションから、現在の活動状況、今後における国際貢献等について、それぞれ口頭で説明が行われた。



図1 国際理事会の様子



図2 国際理事全員の集合写真

第2日目 (SECND SESSION)

1) 各委員会からの報告が行われた。

①Awards、②Bylaws、③Executive、④Finance (Suchy)、⑤Membership、⑥Officer Nominations、⑦Projects (Culotta-Norton)

2) Master Fellow Nomination : Professor Argirios Pissiotis DMD, MS, PhD, FICD

3) ICDの定款第IV章に以下の文言を追加することを決議した：

第IV章 H 公式アンセム ICDの公式アンセムは「La Banque」とする。本アンセムは、特に認証式や理事会など、本会の行事において演奏されることが期待される。

4) 現状に即した規則の修正が行われた。

5) Region38のインドネシアが独立部門となった (Section XVI)。

6) Section XVの年会費納入を6ヶ月猶予することとした。

7) 2026 年国際理事会は、トロント (カナダ) において2026 年 9 月 24~26日の会期で行われること

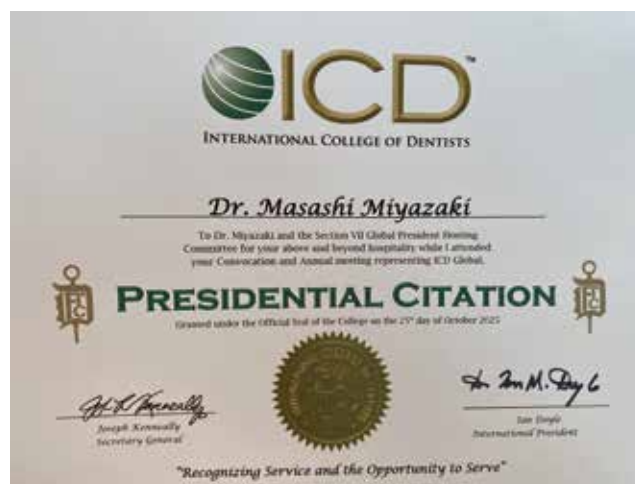


図3 国際理事長から送られた感謝状

が承認された。

8) 現国際会長のIan Doyle (Canada) から、次期国際会長Julio Rodriguez (USA) への交代式が行われた。

9) 日本部に、Doyle前国際会長から感謝状が贈られた (図3)。